

2014年(平成26年)3月3日(月曜日)

落語や箏演奏
女性へ贈り物

高松、桃の節句催し

「桃の節句」に合わせて2日、女性を対象にした「別嬪寄席」が高松市番町の徳成寺であり、約20人が落語や箏の演奏を楽しんだ。

女性の日を盛大に祝おうと、同寺が初めて開いた。

高松市出身の箏奏者・青木香璃さんが「乱」と、「さくら」の変奏曲を演奏。この後、銀行に勤めながら女流落語家としても活動している高松市の春日家みっちさんから2人が「子は鎧」などを披露した。参加者はテンポ良く進む噺に大笑いして、日頃のストレスを発散する様子だった。

友人と2人で訪れた丸亀市飯野町、会社員妻鹿千鶴さん(28)は「箏の和音の美しいとびっくり。落語も面白く、いい雛まつりになりました」と喜んでいました。

